

# 新潟農業・バイオ専門学校

学校自己評価報告書  
(平成24年度)

## 1. 教育理念・目標

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| 評価項目                                      | 評価 |
|---|----|
| 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか                   | 3  |
| 学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか              | 4  |
| 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか               | 3  |
| 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか | 3  |

### (2) 現状

学校の理念、目的、育成人材像の制定はなされているが、全ての学生、教職員に浸透がなされているとは言いがたい。教職員の専門教育に対する方針の定着をさらに図っていく必要がある。

### (3) 課題と改善策

目的、教育理念を教室掲示、ガイダンスなどを通じて学生への浸透を図っている。

## 2. 学校運営

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| 評価項目                             | 評価 |
|----------------------------------|----|
| 目的等に沿った運営方針が策定されているか             | 4  |
| 運営方針に沿った事業計画が策定されているか            | 3  |
| 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか   | 4  |
| 人事、給与に関する規定等は整備されているか            | 4  |
| 業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 3  |
| 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか         | 2  |

### (2) 現状

食・農・緑に関わる職業人を育てるという理念に即した授業カリキュラム、運営システムが確立されつつある。開校3年目にしてようやく運営システムの確立がなされていると評価を得られた。社会状況、特に農業分野においては政策などにも注視した中での学科構成、学校経営を進めていく必要がある。

### (3) 課題と改善策

学校運営のさらなる確立を進めると同時に時代状況に即した学科、コース設定を進めている。平成26年度より農業経営科では「1年制」、バイオテクノロジー科2年制では「きのこ・菌類コース」を新たに発足している。

### 3. 教育活動

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| 評価項目   | 評価 |
|--|----|
| 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか                          | 4  |
| 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか                                    | 4  |
| キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか         | 3  |
| 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか         | 3  |
| 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか                                | 3  |
| 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか                             | 4  |
| 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                       | 3  |
| 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか                    | 4  |
| 関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか              | 3  |
| 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか | 3  |
| 職員の能力開発のための研修などが行われているか                                    | 3  |

#### (2) 現状

食・農・緑に関わる職業人を育てるという理念に即した確立されているという評価が多かった。一方で、教師の教務力、学生指導力に課題が残された。学生と担当講師との間での授業内容のギャップが発生していることも垣間見られた。非常勤講師を含め、多くの講師は現在の状況に即した授業内容を日々検討、工夫をし、実現している。今後も、特に農業分野においては政策にも注視した中での授業運営を進めていく必要がある。

#### (3) 課題と改善策

実習授業の担当者の不足が懸念として挙げられた。食品、化学実験に関してはサポート役としてチューター制度の導入を図っている。今年度は2名の実習補助員を採用した。懸念材料はこの採用により、改善された。新潟市、新潟県などの行政機関とも積極的に連携を進め、当校ならではの教育内容の実現がなされた。

#### 4. 学修成果

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| 評価項目                       | 評価 |
|----------------------------|----|
| 就職率の向上が図られているか             | 3  |
| 資格取得率の向上が図られているか           | 4  |
| 退学率の低減が図られているか             | 2  |
| 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 3  |

#### (2) 現状

平成25年度より就職分野の責任者として就職部長を迎えて、情報の一本化ならびに学生指導の充実を図られた。一方で、退学率の低減を図ることに難渋している。入試時の志望動機の確認、入学後のフォロー体制の充実が必要である。

#### (3) 課題と改善策

就職指導、就職対策は就職部長を中心に個別対応を軸とした運営を継続的に進めていく。退学率の低減については担任、教務部長を中心に授業担当者を含めた連携にて学生指導に充てていく。

#### (4) 特記事項

定例にて教職員会を開催し(ひと月に1回)、学生状況や学生情報の共有化を図っている。

## 5. 学生支援

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| 評価項目                                   | 評価 |
|--|----|
| 進路・就職に関する支援体制は整備されているか                 | 3  |
| 学生相談に関する体制は整備されているか                    | 3  |
| 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか                | 3  |
| 学生の健康管理を担う組織体制はあるか                     | 4  |
| 課外活動に対する支援体制は整備されているか                  | 3  |
| 学生の生活環境への支援は行われているか                    | 4  |
| 保護者と適切に連携しているか                         | 2  |
| 卒業生への支援体制はあるか                          | 3  |
| 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4  |

### (2) 現状

学生の進路・就職支援は求人情報の不足が課題点として挙げられる。就職部を中心としてハローワークとの連携をすすめ、一般求人の提案を積極的に実現している。課外活動（サークル活動、学園祭）への支援は昨年度と同様に積極的に実現している。保護者との連携、保護者への情報提供は年に4回程度（通信発行）に留まっている。この点、保護者からの要望が大きく、当校の課題点のひとつである。

### (3) 課題と改善策

就職指導、就職対策は就職部長を中心に個別対応を軸とした運営を継続的に進めていく。退学率の低減については担任、教務部長を中心に授業担当者を含めた連携にて学生指導に当てていく。保護者への情報提供は回数の増加（4回→6回）と内容の充実を図っていく。

### (4) 特記事項

保護者会は本年度3回実施（新入生対象1回、全体保護者会1回、就職年次生対象1回）した。なお、保護者会の参加率は全体で平均60%程度となっている。

## 6. 教育環境

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| 評価項目                                       | 評価 |
|--|----|
| 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか           | 2  |
| 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 3  |
| 防災に対する体制は整備されているか                          | 4  |

### (2) 現状

教室、実習設備、実習場といった教育環境の整備は急務である。特にバイオテクノロジー科の学生数増加に即した対応が十分になされていないのが、現状である。農業経営科、園芸デザイン科の学科特徴である実習、インターンシップの運営体制は昨年度より効果的な運営がなされている。

### (3) 課題と改善策

平成 26 年度の入学者数の状況を鑑みて近隣の空きスペースの借用を検討進めている。また、新潟市施設（アグリパーク）、新潟県施設（新潟県立植物園）の積極的な活用を進めている。

### (4) 特記事項

避難訓練を 11 月に実施。災害時の近隣住民との連携を進めている（毎年 1 回 4 月に近隣住民懇談会を実施）。

## 7. 学生の受入れ募集

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| 評価項目                             | 評価 |
|----------------------------------|----|
| 高等学校等接続する機関に対する情報提供の取り組みが行われているか | 4  |
| 学生募集活動は適正に行われているか                | 4  |
| 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか      | 3  |
| 学納金は妥当なものとなっているか                 | 4  |

### (2) 現状

高等学校への情報提供は学校案内、教育実績、学生生活、就職先など十分に行われている。また、学生募集活動に関してもグループ内のガイドライン、また一般的な商習慣に則って適正に行われている。学生納付金の金額、用途についても適正な形で処理されている。

### (3) 課題と改善策

引き続き、高校生、入学希望者への適正な学生募集活動、学校の情報提供の実現に努めていく。

## 8. 財務

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| 評価項目                     | 評価 |
|--------------------------|----|
| 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4  |
| 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4  |
| 財務について会計監査が適正に行われているか    | 4  |

### (2) 現状

法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。

### (3) 課題と改善策

現状で直ちに改善しなければならない大きな問題はないが、18歳人口の減少や高校新卒者の就職率など外部要因の変動による収支への影響に耐えうる財務基盤の構築を行っていきたい。

### (4) 特記事項

学校法人として収支計画を立てているため、情報提供も法人単位としている。

## 9. 法令等の遵守

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| 評価項目                          | 評価 |
|-------------------------------|----|
| 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4  |
| 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか    | 4  |
| 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか         | 4  |

### (2) 現状

学校として法の遵守と適正な運営がなされている。個人情報に対して事前に該当者への確認が適切に行われている。学校評価委員会を年に1度実施し、問題点の抽出、改善方法の検討ならびに実施計画の策定を行っている。

### (3) 課題と改善策

迅速な情報公開の実現を図る。また、毎年実施される学生授業アンケート、学校調査ならびに保護者アンケートの内容の検討も引き続き行う。

## 10. 社会貢献・地域貢献

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| 評価項目                            | 評価 |
|---------------------------------|----|
| 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4  |
| 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか          | 3  |
| 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか | 3  |

### (2) 現状

新潟市、新潟県、地域のNPO法人などとの連携が図られ、イベントへの参加、講座への講師派遣などが実現されている。学生のボランティア活動も積極的に図られている。課題点として学科によって依頼される回数、内容にばらつきがあり、集中する点が挙げられる。

### (3) 課題と改善策

地域への公開講座、教育訓練の受託がなされていない現状を踏まえ、社会人などに向けられた公開講座の実施の検討を開始する。